

# 株式会社 大阪アサヒメタル工場

## 2019 年度 環境経営レポート

(対象期間 2019 年1月1日～ 2019 年12月31日)



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号 0011401

作成日: 2020年4月1日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12

## □ごあいさつ

企業の最大の目的として利潤を追求することがあげられますが、同時に社会に何らかの形で貢献することも大切な役割であると考え、従来より比較的公共性の高い当社製品の製造をもって皆さまの日々の生活にお役に立ってきたと考えております。しかしこれからの企業は、自社の事業活動の中で常に環境にやさしいもの造りを目指し、地域の環境保全、そして地球全体の環境保全に大きな貢献ができるように社員全員で高い意識を持って行動することが大切であると考え、全員一致のもと環境の保全に取り組んで参ります。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

株式会社大阪アサヒメタル工場はホワイトメタル軸受、銅母合金、高融点活性合金・高纯净合金、Uアロイ及び高純度金属メーカーとして、環境と事業活動の調和を図ることを基本理念とする。環境に配慮した事業活動と、地球環境及び地域社会環境保全のための活動を全社員一致団結し自主的・積極的に取り組みます。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連の法規制及び当社で同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 地球温暖化防止のため電力・燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 事業活動により発生する廃棄物の削減に努めます。
4. 節水活動により水使用量の削減に努めます。
5. 化学物質の適正管理に努めます。
6. 製品・サービスの環境配慮として、お客様への納期厳守、不適合品の削減管理に努めます。
7. グリーン購入に努めます。
8. この環境方針を全社員に対し周知するとともに、環境保全に対する意識向上のための教育を実施します。
9. 環境方針及び環境活動レポートを一般に公表いたします。

制定日：2015年11月2日

代表取締役社長 安部 研

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社大阪アサヒメタル工場  
代表取締役社長 安部 研

(2) 所在地

本社工場 大阪府大阪市西成区南津守3丁目1番17号  
第2工場 大阪府大阪市西成区南津守6丁目5番7号  
忠岡工場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡南3丁目14番地73  
神戸工場 兵庫県神戸市西区見津が丘5丁目5番地の4  
MTセンター 大阪府大阪市西成区南津守5丁目4番21号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 高純度金属製造部部长 笹垣 通仁 TEL:06-6658-0101  
担当者 高純度金属製造部主任 大羽 久雄 TEL:06-6658-0101

(4) 事業内容

ホワイトメタル軸受の製造及び販売  
銅母合金、低融点合金、高純度金属の製造

(5) 事業の規模

製品出荷額 17 億円(2019年度)  
主要製品生産量 軸受:約4000ヶ(2019年度)  
合金:約400トン、高純度金属:約5.6トン(2019年度)

	本社工場	第2工場	忠岡工場	神戸工場	MTセンター	合計
従業員 名	59 名	8 名	10 名	7 名	4 名	88 名
延べ床面積 m <sup>2</sup>	2721 m <sup>2</sup>	843 m <sup>2</sup>	1000 m <sup>2</sup>	740 m <sup>2</sup>	624 m <sup>2</sup>	5928 m <sup>2</sup>

2019年12月31日現在

(6) 事業年度 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社大阪アサヒメタル工場  
対象事業所: 本社工場  
第2工場  
忠岡工場  
神戸工場  
MTセンター

活動: ホワイトメタル軸受の製造及び販売  
銅母合金、低融点合金、高純度金属の製造

□事業や製品(商品)の紹介

(株)大阪アサヒメタル工場の環境配慮商品

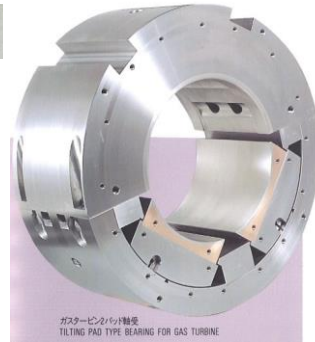
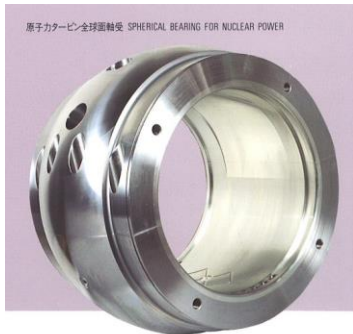
環境にもやさしい  
**U-PROI-eco**

環境に配慮した  
**鉛・カドミウムフリー**  
7タイプをご用意しました。

	融解区域(℃)	
	開始点	終了点
Type-16	16	16
Type-60	60	60
Type-72	72	72
Type-78	78.8	78.8
Type-109	109	109
Type-138	138	138
Type-150A	138.5	174

# 大阪アサヒメタル工場の主要商品

## WHITE METAL BEARING



## HIGH PURITY METALS

高純度金属



## 母合金

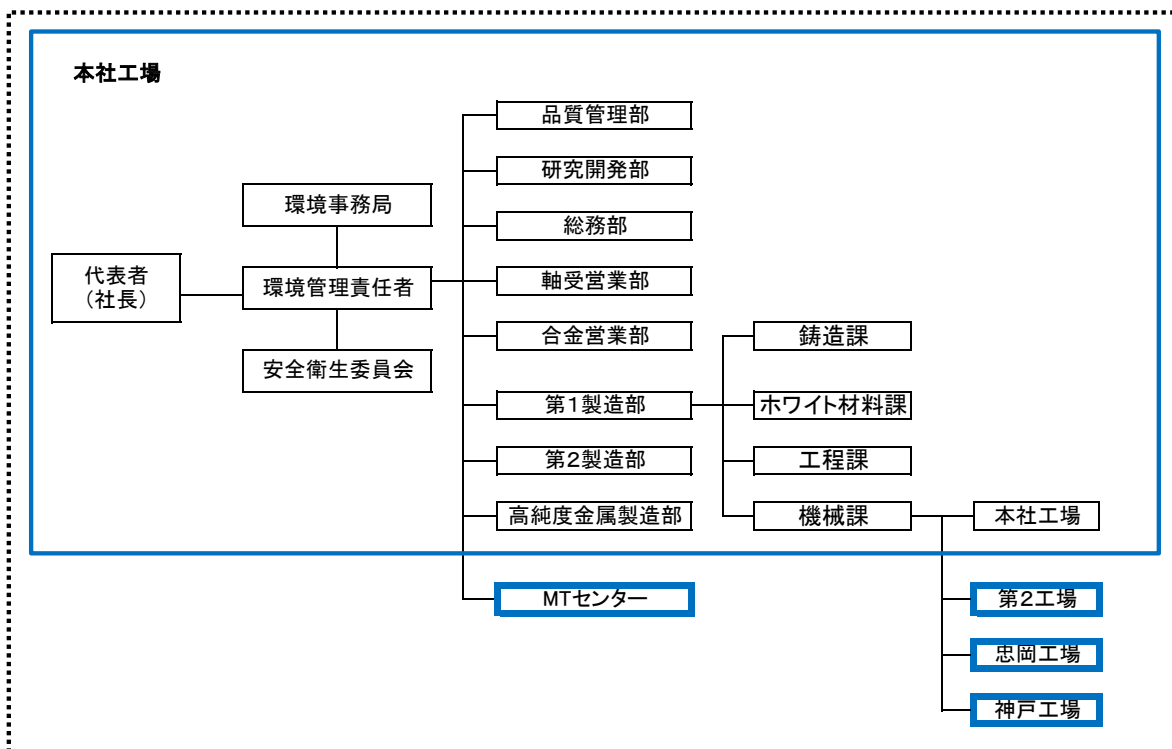
### MOTHER ALLOYS



Ni(30%, 65%) - Cu  
Co(10%) - Cu  
Cr(5%, 10%) - Cu  
Mn(35%, 50%) - Cu  
Si(10%, 15%) - Cu

ect.

詳しくは、 <https://www.osaka-asahi.com/group/> をご覧ください。



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
安全衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>



## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,487,115	1,598,718	1,500,518
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	7,537	5,973	5,187
産業廃棄物排出量	kg	32,741	30,313	48,870
総排水量	m <sup>3</sup>	13,931	15,628	14,835

※二酸化炭素排出係数 0.531 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社の調整後の係数

※2019年度、産業廃棄物としてマシニングセンター(18530kg)を廃棄

## □環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2019年		評価	2020年 (目標)	2021年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減(MTセンター以外)	kg-CO <sub>2</sub>	757,167	719,308	631,017	○	719,308	719,308
	基準年度比	2014年	95%	83%		95%	95%
電力による二酸化炭素削減(MTセンター)	kg-CO <sub>2</sub>	323,793	582,827	482,466	○	582,827	582,827
	基準年度比	2017年	180%	149%		180%	180%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	397,544	373,691	324,927	○	369,716	365,740
	基準年度比	2014年	94%	82%		93%	92%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	52,203	54,813	56,076	×	54,813	54,813
	基準年度比	2014年	105%	107%		105%	105%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	1,530,706	1,730,639	1,494,487		1,726,664	1,722,688
一般廃棄物の削減	kg	5,036	4,935	3,589	○	4,885	4,835
	基準年度比	2014年	98%	71%		97%	96%
廃油(パークロ)の削減	kg	1,200	1,164	0	○	1,152	1,140
	基準年度比	2014年	97%	0		96%	95%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	13,465	16,158	14,835	○	16,158	16,158
	基準年度比	2014年	120%	110%		120%	120%
パークロ使用量の削減	kg	13,250	12,720	9,025	○	12,588	12,588
	基準年度比	2014年	96%	68%		95%	95%
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	% (金額率)	—	60%	54%	×	65%	65%
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						

※燃料の削減目標は、使用量の多い都市ガスと自動車燃料(ガソリン、軽油)に対して設定(上記二酸化炭素排出量は、灯油とLPG分を含んでおりません。)

※一般産業廃棄物の削減目標は、焼却量を対象としています。

※産業廃棄物は、主に汚泥、廃プラ、ゴムくず等を排出しています。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

電力

電力による二酸化炭素削減(MTセンター以外)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	LED照明の導入等により、電力使用量は、目標数値を達成することが出来た。今後は、より効率的な製造を実施していくことにより、効率的な電力使用に努めていきたい。
・空調温度の適正化	○	
・不要照明の消灯	○	
・空調機フィルターの定期清掃	△	

電力(kWh)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2014年	121,961	119,447	118,482	108,557	114,185	124,365	132,309	131,809	119,594	119,594	109,219	104,576
2019年	97,929	94,618	105,828	87,294	96,321	96,527	114,872	102,492	102,711	99,995	91,743	98,026

電力による二酸化炭素削減(MTセンター)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標数値は達成出来た。半導体関連の景気減速により、2018年末に想定していた高純度Mn出荷量より大幅に減少してしまった。これにより、Mn製造量も想定していたより減少し電力使用量が当初見込みより減少した。今後も、効率的な製造に努めていきたい。
Mn製造を効率よく行う	○	

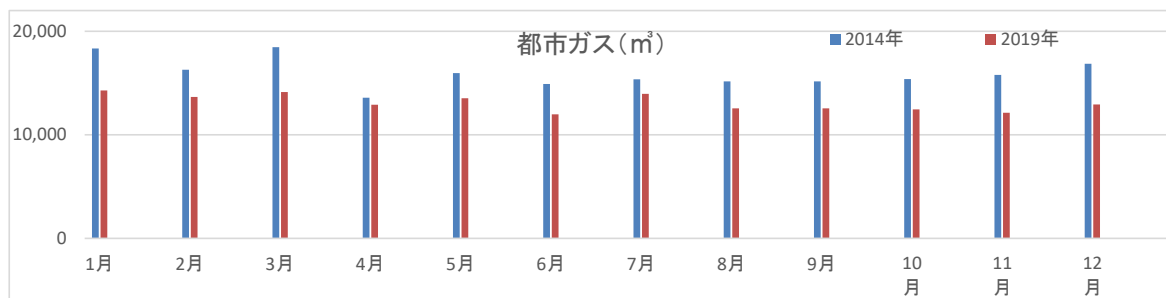
電力(kWh)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	22,007	21,322	23,354	23,515	27,970	27,848	30,064	33,592	29,517	29,517	28,535	26,238
2019年	38,298	38,738	41,241	37,796	40,640	39,068	47,591	43,354	42,719	43,494	35,861	33,666



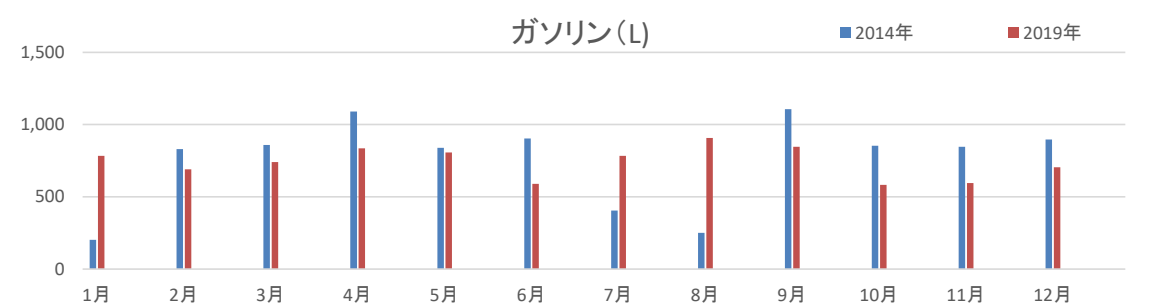
燃料

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標数値は達成出来た。軸受の製造量が横ばいもしくはやや減少しているのに比例し、都市ガス使用量も横ばいもしくはやや減少している。軸受製造量が増加に転じた時、都市ガス使用量がどのような振る舞いをするか注視していきたい。
・夏季の風呂はシャワーのみとする	○	
・Sn釜、Snメッキ槽上部に放熱防止対策を施す	○	

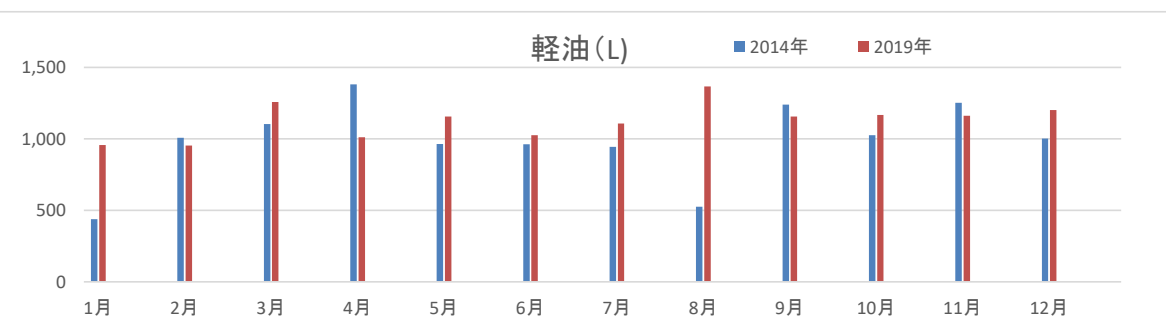


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2014年	18,334	16,292	18,477	13,592	15,966	14,901	15,351	15,158	15,158	15,391	15,793	16,875
2019年	14,287	13,668	14,123	12,917	13,532	11,978	13,947	12,548	12,548	12,444	12,132	12,928

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	外注運搬から自社運搬を多く活用することで自動車燃料の使用量が増加している。ここ3年はほぼ横ばいで推移している。今後もエコドライブを推進して行くことと致します。
・エコドライブの推進	○	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2014年	203	831	860	1,091	840	904	406	251	1,107	853	846	896
2019年	783	690	740	835	807	591	783	908	847	582	596	704



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2014年	439	1,008	1,104	1,382	965	963	945	526	1,239	1,026	1,253	1,002
2019年	957	953	1,257	1,012	1,157	1,026	1,108	1,366	1,156	1,168	1,163	1,202

## 廃棄物

一般廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	紙類のリサイクルの徹底により、昨年度と比較しても大きく削減することが出来た。今後も分別・リサイクルを推進し更なるゴミの減量化に努めていきます。
・分別の徹底準備		○	
・リサイクル化を推進していく		○	
・紙使用量の削減		○	

一般廃棄物 (kg)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2014年	417	417	417	417	417	417	417	417	417	417	417	433
2019年	204	197	266	275	392	198	391	298	294	394	315	366

廃油(パークロ)の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	今年度は、廃油(パークロ)がなかった。
・対策の実施、検証		○	

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2014年	0	0	0	0	0	0	1,200	0	0	0	0	0
2019年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 水道水

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	MTセンターに設置している大型真空溶解炉で使用しているクーリングタワーにおけるオーバーフローの抑制対策を実施した。MTセンターにおける水使用量の今後の動向を注視していきたい。全体としては、目標数値を達成することが出来た。今後も無駄な水利用がないか注視していきたい。
・節水の励行		○	
・夏季の風呂はシャワーのみとする		○	
・漏水管理(水道使用量の異常監視)		○	

水道水 (m³)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2014年	1,052	1,006	1,224	1,082	997	1,012	1,061	1,002	1,143	1,333	1,194	1,359
2019年	1,387	1,260	1,290	1,291	1,306	1,120	1,245	1,255	1,182	955	964	1,580

## 化学物質

パークロ使用量の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	昨年と比較し10%程度使用量が減少し、目標数値は達成することが出来た。今後、軸受の製造量が増加に転じた時、パークロ使用量の変動に注視していくこととする。
・対策を継続し実施していく		○	

パークロ使用量(kg)

■ 2014年 ■ 2019年

月	2014年	2019年
1月	900	0
2月	900	925
3月	1,200	900
4月	1,200	1,200
5月	1,500	0
6月	925	900
7月	1,500	900
8月	0	900
9月	1,825	1,200
10月	900	900
11月	900	900
12月	900	300

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2014年	900	900	1,200	1,200	1,500	925	1,500	0	1,825	900	1,500	900
2019年	0	925	900	1,200	0	900	900	900	1,200	900	900	300

## グリーン購入

グリーン購入の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	全工場で購入する事務用品について、総務部を中心にグリーン購入を推進している。目標数値は、達成することが出来なかったが、今後も環境に配慮したものを購入していくよう努めていくこととする。
・事務用品のグリーン購入推進		△	
・その他のグリーン購入推進		○	
・事務用品のグリーン購入比率調査		○	

## 環境配慮

課題を解決しチャンスを活かす取組		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
Co-Cu母合金シェア拡大(作業環境基準達)		○	今後も、作業環境維持・改善続けていくよう努めます。

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無**  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法、下水道法	金属洗浄等
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	テトラクロロエチレン等
顧客要求事項	品質管理、化学物質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□外部からの環境上の苦情・要請等**  
 特にありませんでした。

**□代表者による全体の評価と見直し・指示**

実施日：2020年3月27日

2019年は弊社にとって創業101年目、つまり次の100年に向けてのスタートの年ということで業績面でのスタートダッシュを期待していたにもかかわらず、軸受や銅母合金、高純度金属など総ての部門において前年の売り上げを割り込み、総売り上げ年間17億円強と前年を大きく下回る大変に厳しいスタートの年となってしまった。  
 この大きな原因として、我々の製品を使用している最終マーケットの縮小が挙げられる。このような状況の中、我々が先ず成し遂げなければならないことは大幅な生産性の改善改良によるコストの削減と工期の短縮による競争力アップの実現であると考えます。また同時に、生産にかかわる諸経費の中でも最大クラスである電力消費量の見直しも重要であると考え、2018年度末に事務所並びに全工場における照明のLED化を行い、2019年度は大幅な電力消費量削減に成功した。このような成功例をみんなが実感することによって、エコアクション21全般にわたって各自の認識度合が年々高まり、会社全体として環境に対する考え方や取り組み方がより一層深いものになってきているように感じている。  
 これからはもっとPDCAを回すことで、生産性の改善および環境改善に関して、より中身の濃いものにしてできるよう全員が一丸となって頑張っていきたいと考えている。

代表取締役社長

安部 研

- |           |  |                               |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針    | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制      | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |

**□環境活動等の紹介**

**各工場周辺の清掃活動風景**



忠岡工場周辺



神戸工場周辺

**避難訓練の風景**

